

出題分析		
試験時間 60分	配点 60点	大問数 4題
分量 (昨年比較) [減少 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 増加]	難易度変化 (昨年比較) [ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">易化</span> 同程度 難化]	
<p><b>【概評】</b></p> <p>大問Ⅰ～Ⅲがマーク式で36問、大問Ⅳが記述式で13問の空欄補充問題と100字の論述問題という構成は例年通りであった。時代は前近代に偏りがある。分野としては、中世ヨーロッパ史からの出題が多かった。細かい知識を問う問題が少なく、昨年と比較して易化したといえる。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	中世におけるローマ＝カトリック教会	問B, エウセビオスは細かい。問H, 選択肢のうち、フランチェスコ修道会とベネディクト修道会はイタリアに設立された。シトー修道会は11世紀末にブルゴーニュ地方に設立された。問I, アベラールは唯名論を唱えた。実在論を主張した人物としてはアンセルムスがいる。問J, フィリップ4世は教皇との抗争に際し、国内の支持を確認するため三部会を招集した。問L, 3はカルヴァンについての文。	やや易
II	中国史上の交易	問A, 東突厥は玄宗在位中の745年、ウイグルの攻撃を受けて滅びた。問C, 朔州は現在の山西省に位置する。消去法で答えを導きたい。問D, 日宋貿易において、硫黄は日本の主要な輸出品であった。問F, 難問。オルトクはトルコ語で「仲間」の意で、モンゴル皇族と結びついたウイグルやムスリムの商人などを指す。新課程の教科書で登場した用語であり、知らなかった受験生が多かったと思われる。問I, マリンディ, モンバサはアフリカ東岸, カルカッタはインド北東部ベンガル地方の都市。問K, ポルトガルがマラッカを占領した結果, スマトラ島とジャワ島間のスダ海峽ルートが開拓され, ムスリム商人の拠点となったアチェ王国やバンテン王国が栄えた。	標準

設問別講評			
III	新しい兵器・戦術の歴史的影響	問E, ガレオン船とガレー船がまぎらわしい。ガレオン船は大西洋三角貿易などで奴隷輸送にも用いられた大型帆船, ガレー船は人力で櫂を漕ぐことで動かす軍船である。問G, コンスタンツ公会議は, 教会大分裂の解決を目的に神聖ローマ皇帝ジギスムントの提唱で開催された。問I, 「君主は国家第一の僕」は, 啓蒙思想の影響を受けたプロイセン王フリードリヒ2世の言葉。他の選択肢はやや細かい知識であるため, 消去法は使わずに誤文と判断したい。問K, 正解以外の選択肢はすべて20世紀以降のドイツの政治家。	やや易
IV	ニューヨークの歴史	2は答えを入りにくい, 前後の文脈上「壁」が想定解であろう。3は後のイギリス国王ジェームズ2世のこと。4は, オランダとイギリスの戦争であることが問題文で明示されているためかえって答えにくい。7「五大湖」, 9「マス=メディア」, 12「基軸通貨」はやや盲点かもしれない。11は「ニューヨーク証券取引所」が一般的であるが, 高校世界史では「ニューヨーク株式市場」という呼称も用いられる。14, 「19世紀末から20世紀初頭」「ニューヨークから上陸」という指定があるため, アイルランド・ドイツのいわゆる旧移民やアジア系移民について触れる必要はない。	標準

#### 合格のための学習法

選択問題の中には判別しづらい問題が散見されるので, 一見難しく思えるが, 全体的にみれば確実に解ける問題も多い。難易度の高い問題に拘泥することなく, 標準レベルの問題を確実に正解できるようにもっていきたい。普段の学習ではなるべく多くの演習問題をこなし, 応用力をつけることを心がけたい。現代史・社会経済史に関わる問題も多いので, 日ごろから世界のニュースについて関心を持っておくことが大切である。